

## 臨床試験推進センター長 就任のご挨拶

八重樫 伸生



臨床試験推進センターは今年4月1日に発足した大学病院内の新組織で、大学病院の治験センターと大学直属の未来医工学治療開発センターが合体したものです。医学系の研究開発をサポートするとともに、基礎研究の成果を臨床の場に応用(橋渡し)することを目的としています。

従来からあった治験センターは主に企業治験を実施する組織でした。この機能はそのまま残りますが、規模をさらに拡大し作業を効率化していこうと考えています。また、各診療科で行っている自主研究も支援していきたいと考えています。

一方、東北大学には数多くの研究者が世界最先端の生命科学系の研究をしています。特に医学系研究科や歯学研究科、加齢医学研究所などで研究されている基礎研究の成果をどうしたら効率よく実用化できるか? どういうサポートが必要か? そのためにはどういう人材を育成しなければいけないのか? 当センターにはこういうことに対応できる人材とノウハウが準備されています。また、当センターは病院内の組織ですが、メディカル・ライフサイエンス系の基礎研究成果を実用化するために全学的な連携の中核としても

活動します。そのために実用化するための基礎シーズを定期的にサーベイしながら開発支援するシステムが必要です。また臨床試験や知財、薬事、生物統計学、倫理などを教育する全学的組織を設置します。臨床試験や橋渡し研究、レギュラトリーサイエンスなどに関連する大型予算を獲得するために機動的に連携できる全学的な連絡協議会を設置していこうと考えています。さらに、学内のみならず、東北地方の各大学・医学部・市中病院とも連携しながら国際的な臨床試験へ参画できる開かれた組織運営を目指します。

これまで医学系研究科にあった第2倫理委員会を大学病院臨床研究倫理委員会とすることで、臨床試験(主に介入試験)全般に関する倫理委員会を統合的に審査する体制を作ります。

研究成果を臨床につなげたいと考えている研究者の方、遠慮なくご相談ください。またセンターの事業に関心のある方はぜひ一緒に仕事をしましょう。